

**Borland®**

**Silk Performer 16.5**

インストール ガイド

**Borland Software Corporation  
700 King Farm Blvd, Suite 400  
Rockville, MD 20850**

**Copyright © Micro Focus 2015. All rights reserved. Silk Performer は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2015 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).**

**MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。**

**その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。**

**2015-09-10**

# 目次

<b>はじめに</b> .....	<b>4</b>
システム要件 .....	4
パフォーマンスとスケーラビリティ マトリクス .....	5
<b>Silk Performer のライセンス管理</b> .....	<b>8</b>
Silk Performer ライセンス ポリシーを生成する .....	9
ホスト ID を調べる .....	9
Silk Meter のインストール .....	10
以前のバージョンの Silk Meter をアンインストールする .....	10
ライセンス サーバー上へ Silk Meter をインストールする .....	10
ライセンス サーバーの設定の変更 .....	11
<b>Silk Performer をインストールする</b> .....	<b>12</b>
完全インストールする .....	12
エージェントのみをインストールする .....	14
SOA Edition のインストール .....	15
サイレント モードでのインストール .....	16
ネットワーク エミュレーション ドライバを手動でインストール/アンインストールする .....	18
ShopIt V 6.0 のインストール .....	19
Eclipse プラグインをインストールする .....	20
Silk Performer をアンインストールする .....	20
サイレント モードでのアンインストール .....	21
<b>リモート コンピュータへのエージェント ソフトウェアのインストール</b> .....	<b>22</b>
リモート インストール .....	22
シナリオ .....	24
シナリオ 1 : 1 つのドメインまたはワークグループ .....	24
シナリオ 2 : 2 つのドメインまたはワークグループ .....	25
シナリオ 3 : ユーザーがローカルにログオンする .....	25
シナリオ 4 : インターネットを利用して接続された 2 つの LAN .....	26
シナリオ 5 : HTTP プロキシを利用して接続された 2 つの LAN .....	27
シナリオ 6 : SOCKS プロキシを利用して接続された 2 つの LAN .....	27
トラブルシューティング .....	28

# はじめに

このヘルプでは、Silk Performer ソフトウェアをインストール/アンインストール、および、負荷テスト環境を準備をする際に必要な情報を提供します。事前にインストールが必要なハードウェアやソフトウェアの要件、および、インストールの代替オプションなどについても提供していきます。

Silk Performer をインストールする前にセットアップ ウィザードは、Silk Performer をインストールし利用するために必要なソフトウェアがすべてお使いのコンピュータ上に準備できているかを確認します。準備されていない場合、セットアップ ウィザードはそれらの欠けているソフトウェアをインストールするための選択肢を提示します。

Silk Performer ソフトウェアは、3 通りの形でインストールすることができます。

- 完全インストール
- エージェントのみのインストール
- SOA Edition のインストール

Silk Performer で負荷テストを実行するには、最低 1 台のコンピュータ上には、完全なソフトウェアをインストールする必要があります。完全インストールには、Silk Performer Workbench、ドキュメント、およびサンプル ファイルが含まれています。Silk Performer Workbench は、負荷テスト コントローラとエージェントを含んだ統合スクリプト開発環境です。他のコンピュータを負荷テスト エージェントとして使用するには、これらのコンピュータ上にエージェント ソフトウェアをインストールします。

このセクションでは、利用可能な各インストール タイプに対して、それぞれ必須または推奨されるインストール オプションについて説明します。

## システム要件

以下の表は、Silk Performer をインストールおよび実行するための、システム要件を示したものです。Silk Performer のパフォーマンスとスケーラビリティの詳細については、「パフォーマンスおよびスケーラビリティのマトリクス」を参照してください。

### ハードウェア要件

Silk Performer のエージェント ソフトウェア、もしくはコントローラとエージェントの両ソフトウェアを実行し、大規模負荷テストを実行するために Silk Performer のポテンシャルを最大限に利用するには、お持ちのシステムが次の最小要件を満たしている必要があります。自作機 (ベアボーンキット、ショップブランド機を含む) は動作保証外です。

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	1 GB 推奨 (最小)
ハード ディスク領域	コントローラ ソフトウェア インストールに 1 GB。エージェントのみをインストールする場合に 450 MB。 行う負荷テストのサイズに応じて、その結果ファイルのための十分な空き容量がお使いのハードディスク上にあるかどうか確認してください。
ネットワーク	テスト対象システム、および、すべての Silk Performer エージェント コンピュータとのネットワーク接続。

## オペレーティング システムの要件

- Silk Performer Controller のインストールには Windows Vista 以降が必要です。
- Silk Performer Agent のインストールには、Windows 2003 以降が必要です。
- ネットワーク エミュレーション ドライバのインストールは、Windows 2003 および Windows 2003 R2 をサポートしません。
- ネットワーク エミュレーション ドライバのインストールは、現時点では Windows 10 をサポートしません。
- Windows XP はサポートされません。

## ソフトウェア要件

Silk Performer をインストールし、実行するには、お持ちのシステムに、最小限のソフトウェア コンポーネント群が必要となります。

必要とされるコンポーネントは、インストールの種類によって異なります。たとえば、Silk Performer Java Explorer を実行するには、適切な Java Development Kit がシステムにインストールされている必要があります。それぞれの Web サイトからコンポーネントをダウンロードしてください。

- ブラウザ駆動型負荷テスト用の Internet Explorer 7、8、9、10、11
- ドキュメント参照用の PDF ビューア
- Citrix XenApp Client 12.x または Citrix Receiver (Microsoft Windows 3.x、4.x 用) (Citrix アプリケーションのテスト用)
- 32 ビット Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7、1.8 (Java Explorer を使用した Java アプリケーションのテスト用)

## マルチユーザー システム上での Silk Performer での作業


Silk Performer を、マルチユーザーによるアクセスを有効にしたターミナル サービスを提供するマシンにインストールできます。一般に、複数のセッションを同時に作業することは推奨されません。それでも作業する必要がある場合には、次の点にご注意ください。

- **記録:** Silk Performer Recorder はシステム全体のフック機構を使用します。あるユーザーが Recorder を開始すると、すべてのほかのユーザーのトラフィックも同様に記録される可能性があります。
- **Workbench :** 複数のユーザーが同時に異なるプロジェクトで作業することができます。同じプロジェクトで作業することは推奨されません。2 番目以降のユーザーに対しては、プロジェクトは読み取り専用モードで開かれます。
- **テストの実行 :** 複数のユーザーが 1 つのマシンから同時にテストを実行できます。ただし、テストを同時に複数実行すると、同じリソース (CPU、メモリ、ネットワークバンド幅) を共有するため、互いに影響を与えます。
- **テストの監視 :** Performance Explorer は、テストを実行している複数のテスト測定値間の違いを区別できません。よって、誤ったテストのリアルタイム値が表示される可能性があります。


# パフォーマンスとスケーラビリティ マトリクス

## エージェントごとの最大仮想ユーザー数


以下のテーブルに、エージェント コンピュータのハードウェア リソースとテストする Web アプリケーションの種類に基づく、エージェント コンピュータあたりの推奨最大仮想ユーザー数を示します。

 **注:** SSL を使用したアプリケーションのテストでは、可能な仮想ユーザー数が 35% 減少します。[エラー時に TrueLog を生成する] を有効にしたテストでは、可能な仮想ユーザー数が 30% 減少します。低レベルの API (Web 低レベル) を使用した Web アプリケーションのテストでは、可能な仮想ユーザー数が 20% 増加します。

システム	OS	Web ビジネス アプリケーション	SSL による Web ビジネス アプリケーション (-35%)	TrueLog On Error (-30%)	SSL による TrueLog On Error	Web 低レベル (+20%)
Intel Xeon Quadcore 3 GHz、16 GB RAM	Windows Server 2008	6500	4225	4550	2958	7800
Intel Core i7 Quadcore 2.8 GHz、8 GB RAM	Windows 8.1	6500	4225	4550	2958	7800
Intel Core2 Duo 3 GHz、4 GB RAM	Windows 7 Enterprise	4700	3055	3290	2139	5640
Intel Pentium 4 3.2 GHz、2 GB RAM	Windows XP	3900	2535	2730	1775	4680

 **注:** Web ビジネス アプリケーションは、ページレベル API (HTML/HTTP) を使用します。Web 低レベルは、低レベルの API (HTTP) を使用します。

### クラウド エージェントあたりの仮想ユーザー数

 **注:** クラウドベース エージェントあたりの最大仮想ユーザー数は、テストするアプリケーションの種類に関係なく 1,000 となります。

以下のテーブルに、テストするアプリケーションの種類に基づいて、クラウドベースのエージェントで通常サポートされる仮想ユーザー数を示します。

テスト中のアプリケーション	クラウドベースのエージェントでサポートされる仮想ユーザー数
ブラウザ駆動型負荷テスト	30
Java/.NET	250
セキュア Web (SSL)	600
Web	800

### テスト パラメータ

上の表の数値は、以下のような特徴を持つ現実的なワークロードを使用して決定したものです。

- リクエストされる全 Web ページのページ構成は、一般的な公開 Web ページ相当とする。
- 仮想ユーザーのページ ビュー間の平均思考時間は 32 秒であった。
- 1 人の仮想ユーザーは、4 つ同時使用接続によってエミュレートされた。

つまり、シミュレートされる仮想ユーザー数は、1 つの一般的な Web サイトに同時にアクセスしている実際のユーザー数に相当し、次のような結果になります。

- ページあたりの平均ヒット数 : 39
- 平均ページ サイズ : 130 KB
- ページ間の平均思考時間 : 32 秒

### Web プロトコル仮想ユーザーのエージェント容量

Silk Performer は以下のパラメータを考慮した公式を使用して、マシンの容量を決定します。

- CPU 数

- CPU ごとのコア数
- CPU 速度
- メモリ サイズ

結果は、対応するパラメータを持つエージェント マシン上で Web プロトコル スクリプトを実行できる仮想ユーザーの数で表されます。

#### 他の仮想ユーザー タイプのエージェント容量


特定のエージェント マシン上で実行可能な仮想ユーザー数を決定するために、使用するテクノロジーに依存する特定の係数で Web プロトコル仮想ユーザー数に重み付けを行います。



**注:** 一部のテクノロジーでは、CPU やメモリの制限というよりも単に OS の制限事項により、仮想ユーザーの最大数がマシンごとに定義されます。

# Silk Performer のライセンス管理

このセクションでは、Silk Performer のライセンス ポリシー ファイルを取得し、Silk Meter をインストールする方法について説明します。Silk Meter は、すべて Silk 製品用のライセンス サーバーで、ライセンスをユーザー間で共有可能にします (フローティングまたは同時使用ライセンス)。Silk Meter をインストールするには、管理者権限が必要です。Silk 製品をノードロックで使用する場合は、ライセンス サーバーは必要ありません。

 **注:** Silk Performer には、Silk Meter ライセンス ポリシーだけでなく、バージョン 2008 以降の Silk Performer も必要となります。

複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの Silk Meter ライセンス サーバーで、複数の製品のライセンス ポリシー ファイルを管理できます。

Silk Performer ライセンス ポリシー ファイルを受け取っている場合は、ライセンス ポリシー ファイルをライセンス サーバーにインストールします。ライセンス ポリシー ファイルを受け取っていない場合は、オンラインのライセンス生成プログラムを使ってライセンス ポリシー ファイルを生成します。

## ライセンス情報

Silk Performer 16.5 には、新たに 16.5 のライセンスが必要です。バージョン 16.5 へのアップグレード処理中に以前のバージョンの Silk Performer を実行する場合、古いライセンスを 90 日間ご利用いただくことができます。

Silk Performer のライセンス モデルは、仮想ユーザー タイプ (VUser タイプ) に基づいています。利用可能な VUser タイプである、Web、標準、プレミアム には、次の Silk Performer のアプリケーションの種類があります。

VUser タイプ	アプリケーションの種類
Web	Web ブラウザ駆動 HTTP(S) (Web ブラウザ低レベル) HTTP(S)/HTML (Web ブラウザ高レベル) HTTP(S)/XML (Web サービス, SOAP) Silverlight モバイル SAP NetWeaver WebDAV (MS Outlook Web Access) 電子メール (SMTP/POP) FTP TCP/IP UDP AMF0/AMF3/FLEX DLL インターフェイス
標準	Web すべてとそれに加えて : .Net Add-On



VUser タイプ	アプリケーションの種類
プレミアム	Java Add-On
	DB2-CLI Add-On
	OCI Add-On
	ODBC Add-On
	Visual Basic Add-On (Framework)
	ディレクトリ サーバー (LDAP)
	CORBA Add-On
	標準 すべてとそれに加えて :
	GUI レベル テスト (Silk Test 4Test スクリプト)
	Remedy Web ARS
	SAPGUI Add-On for Silk Performer
	Oracle Applications/Forms Add-On
	PeopleSoft Add-On
	Siebel Add-On
	Citrix Add-On
	ターミナル エミュレーション (緑画面) Add-On
	Tuxedo/ATMI Add-On

## Silk Performer ライセンス ポリシーを生成する

Silk Performer で負荷テストを実行するには、有効なライセンスが必要です。Silk Performer を購入すると、オンラインのライセンス生成プログラムを使用してライセンス ポリシー ファイルを生成できます。オンラインのライセンス生成プログラムにアクセスするには、Firefox や Internet Explorer などの SSL 対応ブラウザが必要です。ライセンス ポリシー ファイルの生成方法に関する指示が含まれた電子メールを受け取ります。これらの指示がなかった場合は、<http://support.microfocus.com> でカスタマー ケアにお問い合わせください。

## ホスト ID を調べる

ライセンス ポリシー ファイルを得るためには、ライセンスをインストールするマシンのホスト ID を知る必要があります。フローティング ライセンスの場合は、Silk Meter がインストールされたライセンス サーバーです。ノードロック ライセンスの場合は、通常はコントローラ マシンになります。

1. マシン上でコマンド プロンプトを開いて、コマンド ipconfig/all を入力します。ネットワーク アダプタとさまざまな情報が表示されます。
2. LAN カードの MAC アドレスまたは物理アドレスであるホスト ID (00-BF-00-1C-D3-3D など) を確認します。



**ヒント:** 仮想マシンや VPN 接続が設定されている場合など、システムの設定によっては、コンピュータに異なる MAC アドレスを持つ複数のネットワーク アダプタが存在することがあります。物理 LAN カードのホスト ID を確認してください。

# Silk Meter のインストール

Silk Performer ライセンス ポリシー ファイルをお持ちの場合には、Silk Meter をインストールする際に、そのポリシーをインストールすることができます。有効な Silk Performer ライセンスをお持ちでない場合は、オンラインのライセンス生成プログラムを使用してライセンス ポリシー ファイルを生成してください。

ライセンス サーバー上に Silk Meter をインストールして実行するためには、ライセンス ポリシー ファイルは必要ありません。しかし、Silk Performer の負荷テストを実行する前に、ライセンス ポリシー ファイルをインポートする必要があります。Silk Meter **Policy Administrator** を使用してライセンス ポリシー ファイルをインポートできます。

複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの Silk Meter ライセンス サーバーで、複数の製品のライセンス ポリシー ファイルを管理できます。

## Silk Meter ライセンス サーバーの要件

Silk Meter をインストールする前に、リリース ノートを参照して、ライセンス サーバーが要件を満たしていることを確認します。

## 以前のバージョンの Silk Meter をアンインストールする

Silk Meter の以前のバージョンがライセンス サーバーにインストールされている場合は、最新バージョンの Silk Meter をインストールする前にアンインストールする必要があります。

1. **スタート > すべてのプログラム > Silk > Silk Meter > Uninstall** を選択します。
2. **Yes** をクリックして Silk Meter をアンインストールします。 **Remove Settings** ダイアログ ボックスが開きます。
3. **No** をクリックした場合には、Silk Meter の設定が保持されます。



**注目:** 現在、Silk Meter ライセンス サーバー上に存在するライセンス ポリシーを維持するには、**No** をクリックしなければなりません。

4. コンピュータを再起動します。

Silk Meter がアンインストールされ、最新バージョンの Silk Meter がインストール可能になりました。

## ライセンス サーバー上へ Silk Meter をインストールする

Silk Meter をインストールする前に、以下の情報を確認してください。

- ユーザー アカウントに管理者権限があること。
- Silk Meter のインスタンスがライセンス サーバーにインストールされていないこと。

1. **製品更新サイト** を開いて、Silk Meter を検索します。
2. 最新の **Silk Meter インストール ファイル** をダウンロードし保存します。
3. EXE ファイルを保存した場所まで移動して、ダブルクリックします。標準インストールの場合、デフォルトのオプションで Silk Meter インストール ウィザードの指示に従ってください。



**重要:** セットアップによってコンピュータを再起動することを要求された場合は、コンピュータを再起動します。

# ライセンス サーバーの設定の変更

**Select Silk Meter License Server** ユーティリティを使用して、ライセンス サーバーの設定を変更または修正します。このユーティリティは、Silk Performer セットアップによってインストールされます。

1. **スタート > すべてのプログラム > Silk > Silk Performer 16.5 管理ツール > ライセンス サーバー 構成の変更** を選択します。**Select Silk Meter License Server** ユーティリティが開きます。
2. **Application** リスト ボックスから、ライセンス サーバーを設定する製品を選択します。
3. **Using local or remote server** オプション ボタンをクリックして、Silk Meter ライセンス サーバーを設定します。
4. **License Server Host** フィールドに、Silk Meter ライセンス サーバーのコンピュータ名を入力します。  
ネットワーク管理者が別のポートを定義したのではないかぎり、**Port Number** は変更しないでください。
5. **Apply** をクリックして、ライセンス サーバーの設定をアクティブ化します。
6. **Test connection** をクリックして、指定したホスト、ポート上で Silk Meter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。接続に成功すると、**Status** フィールドに SUCCESS メッセージが表示されます。



**注:** 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** フィールドに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前指定すると、うまくいかない場合があります。Silk Meter ライセンス サーバーとの接続に失敗しました というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

7. **Close** をクリックして、ライセンス サーバーの設定を完了します。

# Silk Performer をインストールする

このセクションでは、Silk Performer に対して利用可能なインストール オプションの概要を提供します。

Silk Performer セットアップ プログラムを使用すると、お使いのテスト環境内にある、コントローラ コンピュータには負荷テスト コントローラとエージェント ソフトウェアを、エージェント コンピュータにはエージェント ソフトウェアをインストールできます。リモート エージェント コンピュータで Silk Performer を使用する場合は、コントローラ コンピュータを少なくとも 1 つセットアップする必要があります。


インストールを開始する前に、お使いのコンピュータがインストールの事前要件を満たしているかどうか確認してください。インストール プログラムはシステムを検査して、必要な場合には、足りないソフトウェア パッケージをインストールします。

## 完全インストールする

作業を開始する前に、Silk Performer の実行可能ファイルをダウンロードするか、Silk Performer の DVD を DVD ドライブに挿入します。

Silk Performer の完全インストールでインストールされる機能は次のとおりです。

- Workbench
- Visual Studio .NET Add-On (Visual Studio がインストールされている場合のみ)
- Performance Explorer
- TrueLog Explorer
- Java Explorer
- .NET Explorer
- Silk Performer エージェント
- すべてのサンプル

 **注:** 問題が発生する可能性を避けるため、権限に制約のない管理者アカウントでインストールを実行してください。

1. Silk Performer の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Performer の DVD をお持ちの場合、DVD を挿入します。セットアップ ウィザードが自動的に開始しない場合は、**スタート > ファイル名を指定して実行** をクリックし、<DVD ドライブ>:¥Setup.exe を入力します。

セットアップ ウィザードが開き、**著作権情報** ページが表示されます。


2. **次へ** をクリックして **開始画面** を読み、再度 **次へ** をクリックします。**使用許諾契約** ページが開きます。
3. 使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**次へ** をクリックします。**インストール セットの選択** ページが表示されます。
4. **Silk Performer 16.5** インストール セットをクリックして Silk Performer 環境をインストールし、**次へ** をクリックします。**インストールのカスタマイズ** ページが表示されます。
5. インストールするコンポーネントを選択します。
  - **Silk Performer 16.5 Workbench** : このオプションを選択すると、Java および .NET アプリケーションの負荷テストを行うための完全な環境がインストールされます。
  - **高度なインストール** : このオプションを選択すると、Silk Performer とともにインストールするツールを選択できます。

**Silk インストール フォルダの選択** ページが表示されます。

6. インストール フォルダを指定します。製品のサブフォルダ (たとえば、Silk Performer や TrueLog Explorer などに対して) は、自動的に作成されます。デスクトップにショートカット アイコンを作成するかどうかを選択し、**次へ** をクリックします。

デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します。

- a) **選択** を選択します。**フォルダの参照** ダイアログ ボックスが開きます。
- b) Silk Performer をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **インストール フォルダの選択** ページに戻ります。

 **注:** Silk Performer は、ローカル ドライブにインストールしなければなりません。

**インストール前の要約** ページが表示されます。

7. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います。

- 設定を変更するには、**前へ** をクリックして、適切なページに戻ります。
- 必要な設定を終えたら、**インストール** をクリックして、インストール処理を開始します。

**インストール中** ページの進捗バーにより、インストール処理の状況が分かります。

8. 以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。

- **評価版** - Silk Performer の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 45 日間使用できます。使用は 10 仮想ユーザーに制限されています。後から、製品版へのアップグレードをご希望の場合には、営業担当までお問い合わせください。
- **ライセンス版** - Silk Performer ライセンスが必要な Silk Performer の無制限版をインストールします。

9. インストールにおいて選択したコンポーネントに応じて、**Silk Meter ライセンス サーバーの選択** ページが開く場合があります。ライセンス管理を必要とするコンポーネントをインストールしておらず、このページが開かない場合は、次のステップに進んでください。以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。

- **ローカルまたはリモート サーバーを使用する** : **ライセンス サーバー ホスト** フィールドに、Silk Meter がインストールされているコンピュータの名前を入力します。ネットワーク管理者が別のポートを定義したのではない限り、デフォルト ポート番号 5461 は変更しないでください。**接続のテスト** をクリックして、指定したホスト、ポート上で Silk Meter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。


 **注:** 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** フィールドに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前指定すると、うまくいかない場合があります。Silk Meter ライセンス サーバーとの接続に失敗しました というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。


- **スタンドアロン ライセンスを使用する** : Silk Meter をスタンドアロンで実行します。**選択** ボタンを使用して、Silk Meter ライセンス ファイルの場所を指定します。

**ネットワーク エミュレーション ドライバのインストール** ページが表示されます。

- 10 次のいずれかのオプションを選択して、**次へ** をクリックします。


- **ネットワーク エミュレーション ドライバをインストールする**
- **ネットワーク エミュレーション ドライバをインストールしない**

 **注:** ネットワーク エミュレーション ドライバのインストールおよびアンインストール時に、ネットワークが一時的に切断されます。

 **注:** ネットワーク エミュレーション ドライバは、すべてのネットワーク アダプタと互換性があるわけではありません。互換性がない場合、マシンまたはネットワークにアクセスできなくなったり、ネットワーク速度が低下する場合があります。

**インストール完了** ページが表示されます。

**11完了** をクリックしてインストールを完了させます。


 **注:** セットアップ ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合など)、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、Silk Performer へのアクセスに問題が発生する可能性があります。

インストールに失敗した場合は、インストール フォルダにあるインストール ログ ファイル Install.log を参照できます。

## エージェントのみをインストールする

作業を開始する前に、Silk Performer の実行可能ファイルをダウンロードするか、Silk Performer の DVD を DVD ドライブに挿入します。

リモート Silk Performer エージェントとして使用する各ホストには、エージェントをインストールする必要があります。エージェントは、リモート コンピュータで Silk Performer スクリプトを実行するために使用されます。

 **注:** 問題が発生する可能性を避けるため、権限に制約のない管理者アカウントでインストールを実行してください。

1. Silk Performer の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Performer の DVD をお持ちの場合、DVD を挿入します。セットアップ ウィザードが自動的に開始しない場合は、**スタート > ファイル名を指定して実行** をクリックし、<DVD ドライブ>:¥Setup.exe を入力します。

セットアップ ウィザードが開き、**著作権情報** ページが表示されます。

2. **次へ** をクリックして **開始画面** を読み、再度 **次へ** をクリックします。**使用許諾契約** ページが開きます。

3. 使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**次へ** をクリックします。**インストール セットの選択** ページが表示されます。


4. **Silk Performer 16.5 エージェント** インストール セットをクリックして Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストールし、**次へ** をクリックします。**インストール フォルダの選択** ページが表示されます。

5. インストール フォルダを指定します。製品のサブフォルダ (たとえば、Silk Performer や TrueLog Explorer などに対して) は、自動的に作成されます。デスクトップにショートカット アイコンを作成するかどうかを選択し、**次へ** をクリックします。

デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します。

a) **選択** を選択します。**フォルダの参照** ダイアログ ボックスが開きます。

b) Silk Performer をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **インストール フォルダの選択** ページに戻ります。

 **注:** Silk Performer は、ローカル ドライブにインストールしなければなりません。


**インストール前の要約** ページが表示されます。

6. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います。

- 設定を変更するには、**前へ** をクリックして、適切なページに戻ります。
- 必要な設定を終えたら、**インストール** をクリックして、インストール処理を開始します。

**インストール中** ページの進捗バーにより、インストール処理の状況が分かります。

7. **完了** をクリックしてインストールを完了させます。

 **注:** セットアップ ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合など)、コンピュータを再起動するようにプロ

ンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、Silk Performer へのアクセスに問題が発生する可能性があります。

## SOA Edition のインストール

次の機能が、Silk Performer SOA Edition と共にインストールされます。

- SOA Workbench
- Visual Studio .NET Add-On (Visual Studio がインストールされている場合のみ)
- Performance Explorer
- TrueLog Explorer
- Java Explorer
- .NET Explorer
- Java のサンプル
- .NET のサンプル
- Silk Performer エージェント



**注:** 問題が発生する可能性を避けるため、権限に制約のない管理者アカウントでインストールを実行してください。

1. Silk Performer の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Performer の DVD をお持ちの場合、DVD を挿入します。セットアップ ウィザードが自動的に開始しない場合は、**スタート > ファイル名を指定して実行** をクリックし、<DVD ドライブ>:¥Setup.exe を入力します。

セットアップ ウィザードが開き、**著作権情報** ページが表示されます。

2. **次へ** をクリックして **開始画面** を読み、再度 **次へ** をクリックします。**使用許諾契約** ページが開きます。
3. 使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**次へ** をクリックします。**インストールセットの選択** ページが表示されます。
4. Silk Performer SOA Edition をインストールするには、**Silk Performer 16.5 SOA Edition** インストールセットをクリックして、**次へ** をクリックします。**インストールのカスタマイズ** ページが表示されます。
5. インストールするコンポーネントを選択します。

- **Silk Performer 16.5 SOA Edition:** Java アプリケーションおよび .NET アプリケーションの負荷テストを行えるように Silk Performer SOA Edition 環境をフル インストールする場合は、このオプションを選択します。
- **高度なインストール:** Java アプリケーションの負荷テストを行うツールや .NET アプリケーションをテストするためのツールを個別にインストールする場合は、このオプションを選択します。

**インストール フォルダの選択** ページが表示されます。

6. インストール フォルダを指定します。製品のサブフォルダ (たとえば、Silk Performer や TrueLog Explorer などに対して) は、自動的に作成されます。デスクトップにショートカット アイコンを作成するかどうかを選択し、**次へ** をクリックします。

デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します。

- a) **選択** を選択します。**フォルダの参照** ダイアログ ボックスが開きます。
- b) Silk Performer をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **インストール フォルダの選択** ページに戻ります。



**注:** Silk Performer は、ローカル ドライブにインストールしなければなりません。

**インストール前の要約** ページが表示されます。

7. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います。

- 設定を変更するには、**前へ** をクリックして、適切なページに戻ります。
- 必要な設定を終えたら、**インストール** をクリックして、インストール処理を開始します。

**インストール中** ページの進捗バーにより、インストール処理の状況が分かります。

8. 以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。

- **評価版** - Silk Performer の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 45 日間使用できます。使用は 10 仮想ユーザーに制限されています。後から、製品版へのアップグレードをご希望の場合には、営業担当までお問い合わせください。
- **ライセンス版** - Silk Performer ライセンスが必要な Silk Performer の無制限版をインストールします。

9. インストールにおいて選択したコンポーネントに応じて、**Silk Meter ライセンス サーバーの選択** ページが開く場合があります。ライセンス管理を必要とするコンポーネントをインストールしておらず、このページが開かない場合は、次のステップに進んでください。以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。


- **ローカルまたはリモート サーバーを使用する** : **ライセンス サーバー ホスト** フィールドに、Silk Meter がインストールされているコンピュータの名前を入力します。ネットワーク管理者が別のポートを定義したのではない限り、デフォルトポート番号 5461 は変更しないでください。**接続のテスト** をクリックして、指定したホスト、ポート上で Silk Meter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。

 **注:** 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** フィールドに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前指定すると、うまくいかない場合があります。Silk Meter ライセンス サーバーとの接続に失敗しました というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

- **スタンドアロン ライセンスを使用する** : Silk Meter をスタンドアロンで実行します。**選択** ボタンを使用して、Silk Meter ライセンス ファイルの場所を指定します。


**ネットワーク エミュレーション ドライバのインストール** ページが表示されます。

**10完了** をクリックしてインストールを完了させます。

 **注:** セットアップ ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合など)、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、Silk Performer へのアクセスに問題が発生する可能性があります。

## サイレント モードでのインストール

セットアップを使って、ユーザーの操作なしで Silk Performer をインストールすることができます。この機能はサイレント モード インストール と呼ばれ、特に、LAN やインターネット上で、リモート インストール ツールなどを介してソフトウェアを配布する場合などに便利です。

 **注:** 問題が発生する可能性を避けるため、権限に制約のない管理者アカウントでインストールを実行してください。

1. インストール DVD を使用する場合は、DVD の内容をハード ドライブ上の空のフォルダにコピーします。ファイル マネージャでフォルダを開き、テキスト エディタで silent.properties ファイルを開きます。ステップ 5 に進みます。
2. Web パッケージを使用する場合、ファイル マネージャでインストール ファイルを保存したフォルダを開きます。
3. このフォルダに新しいテキスト ファイルを作成し、silent.properties という名前に変更してからテキスト エディタで開きます。



4. 次のテキスト行をコピーしファイルに貼り付けます。インストーラ パッケージの実際のバージョン番号で <version> を置き換えてください。

```
INSTALLER_UI=silent

#Choose locale
#-----
INSTALLER_LOCALE=en

#Choose installation set
#-----
CHOSEN_INSTALL_SET=ENTERPRISE

#Choose installation folder
#-----
USER_INSTALL_DIR=C:\Program Files (x86)\Silk
CREATE_DESKTOP_ICON=1
CREATE_QUICKLAUNCH_ICON=0

#Choose licensing mode
#-----
USER_INPUT_RESULT_EVAL=0
USER_INPUT_RESULT_FULL=1


#SilkMeter server settings
#-----
SILKMETER_RUN_STANDALONE=false
SILKMETER_LICENSESERVER_HOST=localhost
SILKMETER_LICENSESERVER_PORT=5461


#User data collection
#-----
ALLOW_USER_DATA_COLLECTION=0

#Network emulation driver installation
#-----
#Remove the comment in the following line to allow the driver installation
#INSTALL_NETWORKEMULATION_DRIVER=true
```

5. 必要に応じてパラメータを変更します。

- INSTALLER\_LOCALE : 言語を指定します。
  - en : Silk Performer の英語版をインストールします。
  - ja : Silk Performer の日本語版をインストールします。
  - zh\_CN : Silk Performer の中国語版をインストールします。
- CHOSEN\_INSTALL\_SET : 以下のインストール セットのいずれか 1 つを指定します。
  - ENTERPRISE : Silk Performer 環境を完全インストールします。
  - SOA : Silk Performer SOA Edition をインストールします。
  - Agent : Silk Performer エージェント ソフトウェアのみをインストールします。
- USER\_INSTALL\_DIR : Silk をインストールするフォルダを指定します。
- CREATE\_DESKTOP\_ICON : デスクトップ アイコンを作成する場合は 1、作成しない場合は 0 に設定します。
- CREATE\_QUICKLAUNCH\_ICON : クイック起動バーにアイコンを作成する場合は 1、作成しない場合は 0 に設定します。
- USER\_INPUT\_RESULT\_EVAL : 1 に設定して Silk Performer の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 45 日間使用できます。

- USER\_INPUT\_RESULT\_FULL : 1 に設定して Silk Performer の無制限版をインストールします (Silk Performer ライセンスが必要です)。
-  **注:** USER\_INPUT\_RESULT\_FULL または USER\_INPUT\_RESULT\_EVAL のいずれかを 1 に設定する必要があります。その他は 0 に設定してください。
- SILKMETER\_RUN\_STANDALONE : スタンドアロン ライセンスを使用する場合は、true に設定します。Silk Meter ライセンス サーバーを使用する場合は、false に設定します。
  - SILKMETER\_LICENSESERVER\_HOST : Silk Meter ライセンス サーバーをホストするコンピュータの名前を指定します。SILKMETER\_RUN\_STANDALONE を true に設定した場合は、このパラメータは無視されます。
  - SILKMETER\_LICENSESERVER\_PORT : Silk Meter ライセンス サーバーがリスンするポート番号を指定します。SILKMETER\_RUN\_STANDALONE を true に設定した場合は、このパラメータは無視されます。
  - ALLOW\_USER\_DATA\_COLLECTION : 1 に設定すると、Silk Performer にユーザー データの収集を許可します。
  - INSTALL\_NETWORKEMULATION\_DRIVER : true に設定すると、ネットワーク エミュレーション機能がインストールされます。ネットワーク エミュレーションで問題が発生し、この機能が必要ない場合は、このインストールの手順は省略できます。# 記号を削除すると、Silk Performer はネットワーク エミュレーション ドライバをインストールします。


 **注:** ネットワーク エミュレーション ドライバは、すべてのネットワーク アダプタと互換性があるわけではありません。互換性がない場合、マシンまたはネットワークにアクセスできなくなったり、ネットワーク速度が低下する場合があります。

6. silent.properties ファイルを保存して閉じます。
7. コマンドライン プロンプトを開いて、セットアップ ファイルと properties ファイルのあるフォルダに移動します。
8. インストール DVD を使用する場合は、次のコマンドを入力します。

```
Setup.exe -f c:¥<your directory>¥silent.properties
```

9. Web パッケージを使用する場合は、次のコマンドを入力します。


```
silkperformer<version>.exe -f c:¥<your directory>¥silent.properties
```


 **注:** インストーラ パッケージの実際のバージョン番号で <version> を置き換えてください。

インストールが完了したかどうかを確認するには、**Windows タスク マネージャ** を開いて、**プロセス** タブをクリックします。Silk Performer インストール プロセスが表示されなくなったら、インストールは完了です。

## ネットワーク エミュレーション ドライバを手動でインストール/アンインストールする

1. 管理者特権でコマンド プロンプトを開きます。メニューでコマンド プロンプトを右クリックし、**管理者として実行** をクリックします。
2. 次のようなコマンドを実行して、Silk Performer のインストール フォルダに移動します : c:¥> cd "c:¥Program Files (x86)¥Silk¥Silk Performer <version>¥NetworkDriver"
3. 次のコマンドを実行します。
  - ネットワーク エミュレーション ドライバを手動でインストールするには :  
installNetworkDriver.exe -i netipfw.inf
  - ネットワーク エミュレーション ドライバを手動でアンインストールするには :  
installNetworkDriver.exe -u

 **注:** ネットワーク エミュレーション ドライバのインストールおよびアンインストール時に、ネットワークが一時的に切断されます。

 **注:** ネットワーク エミュレーション ドライバは、すべてのネットワーク アダプタと互換性があるわけではありません。互換性がない場合、マシンまたはネットワークにアクセスできなくなったり、ネットワーク速度が低下する場合があります。

## ShopIt V 6.0 のインストール

Silk Performer には、サンプル Web アプリケーション ShopIt V 6.0 があります。ShopIt V 6.0 は、擬似的なオンライン ショッピングのためのキャンペーン用品カタログを持つ、簡単な e コマースの Web サイトをシミュレートするものです。このアプリケーションを使用すると、Silk Performer の Web アプリケーション機能を試すことができます。ShopIt V 6.0 は、不明なリンク (商品の在庫切れが原因) やセッション エラーなどのエラーを生成するように作られています。

ShopIt V 6.0 をインストールする前に リリース ノート を参照し、お使いのシステムで ShopIt V 6.0 の使用がサポートされているか確認してください。

ShopIt V 6.0 セットアップは、次の場所から利用できます。

- Silk Performer インストール DVD の次の場所から実行できます : ¥Extras¥ShopItV60.exe
- [製品更新サイト](#) からダウンロードできます。

1. ShopItV60.exe ファイルをダブルクリックします。

 **注:** IIS (Internet Information Server) がコンピュータにインストールされている必要があります。IIS 7 では、Role Services ASP と ISAPI Extensions もインストールします。

InstallShield によるインストールの準備ができると、**Welcome** ページが開きます。

2. **Next** をクリックします。**Choose Destination Location** ページが開きます。

3. デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、**Browse** をクリックし、**Choose Folder** ダイアログ ボックスを開きます。

デフォルトのインストール先が、*Destination Folder* セクションに表示されます。

ShopIt V 6.0 をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして前のダイアログ ボックスに戻ります。

4. **Next** をクリックして、インストール プロセスを続行します。

Web アプリケーションの仮想ディレクトリの名前をエントリ フィールドに入力します。これは Web サーバー上に作成されるディレクトリの名前です。**Next** をクリックし、続行します。

**Specify Virtual Directory** ダイアログ ボックスが開きます。

5. セットアップによりファイルがインストールされ、IIS で ShopIt V 6.0 Web アプリケーションが実行されるように設定されます。**Installation Complete** ダイアログ ボックスが開きます。

6. **Installation Complete** ダイアログ ボックスで、**Finish** をクリックします。これで、ShopIt V 6.0 Web アプリケーションが使用できる状態になりました。選択した Web ブラウザで次の URL を入力して、ShopIt V 6.0 にアクセスできます。

```
http://<computer name>/<virtual directory name>/
```

例 :

コンピュータ名が JohnSmith で、仮想ディレクトリのデフォルト値 ShopItV60 を変更していない場合、URL は次のようになります。

```
http://JohnSmith/ShopItV60/
```

あるいは、インストールしたコンピュータから ShopIt V 6.0 にアクセスする場合は、次の URL でも動作します。

```
http://localhost/ShopItV60/
```

7. IIS 7 の場合、仮想ディレクトリを IIS に手動で追加します。

- エイリアス : ShopItV60
- 物理パス : ShopIt のインストールディレクトリ

## Eclipse プラグインをインストールする

[製品更新サイト](#) または DVD から Eclipse プラグインを入手できます。

あらかじめ、Eclipse SDK と Silk Performer がコンピュータにインストールされている必要があります。インストールを開始する前に、少なくとも一度は Silk Performer を実行してください。

1. 標準的なプラグイン インストール手順で、Eclipse SDK ( [ヘルプ](#) > [新規ソフトウェアのインストール](#) ) から Eclipse プラグインをインストールします。  
Eclipse にプラグインをインストールする方法について不明な点がある場合は、Eclipse のドキュメントを参照してください。
2. 追加するサイトの確認が表示されたら、Silk PerformerExtras フォルダに含まれるサイトを指定します。  
Extras フォルダは Silk Performer インストール フォルダにあります。
3. Silk PerformerExtras ディレクトリ内の Eclipse プラグイン ディレクトリ (.../Extras/eclipseplugin/) を参照して選択します。
4. **カテゴリーで項目を分類** チェック ボックスがオンになっていないことを確認します。
5. Silk Performer Eclipse プラグインが一覧表示されたら、新しいローカル サイトのプラス記号をクリックして、内容を展開します。
6. プラグイン フィーチャー (**Silk Performer Feature** のチェック ボックスをオンにして、**次へ** をクリックします。インストール ダイアログ ボックスが開きます。
7. **次へ** をクリックします。インストール ダイアログ ボックスに使用許諾契約の説明が表示されます。
8. 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**終了** をクリックします。
9. **はい** をクリックして、Eclipse ワークベンチを再起動します。Eclipse ワークベンチが再起動すると、Eclipse ワークベンチに Silk Performer のメニュー エントリが表示されます。

## Silk Performer をアンインストールする

削除機能は、指定されたソフトウェア パッケージ (すべてのファイル、およびレジストリ エントリを含む) をコンピュータから削除します。

1. Windows の **プログラムの追加と削除** ウィンドウを開きます。
2. インストールしたソフトウェアのリストから、Silk Performer 16.5 を選択します。
3. **アンインストールと変更** をクリックします。**Silk Performer 16.5 インストールの変更** ウィザードが開きます。
4. **次へ** をクリックします。**機能を削除する** ページが表示されます。
5. **次へ** をクリックして、アンインストールを開始します。進捗バーにより、アンインストール処理の状況がわかります。**アンインストール完了** ページが表示されます。
6. **アンインストール完了** ページに、削除できなかったアイテムの情報が表示されます。通常これらは、削除すべきでない共有ファイルです。Silk Performer で作業したときに作成されたファイル (Silk Performer プロジェクトなど) も削除されません。**完了** をクリックしてアンインストールを完了させます。

## サイレントモードでのアンインストール

セットアップを使って、ユーザーの操作なしで Silk Performer をアンインストールすることができます。これは、サイレントモードアンインストールと呼ばれます。


1. コマンドラインプロンプトを開き、次のフォルダに移動します。<Silk Performer ホーム>%\_Silk Performer 16.5\_installation
2. 次のコマンドを実行します："Change Silk Performer 16.5 Installation.exe" -i silent

### 例

```
C:%Program Files (x86)%Silk%Silk Performer 16.5%_Silk Performer  
16.5_installation%  
"Change Silk Performer 16.5 Installation.exe" -i silent
```

# リモートコンピュータへのエージェントソフトウェアのインストール

Silk Performer にはコマンドライン ツールが付属していて、ユーザーの Windows ドメインまたはワークグループ内のリモート コンピュータに Silk Performer エージェント ソフトウェアをセットアップできます。

 **重要:** Windows Server 2003 および Windows XP Professional: **Guest のみ - ローカル ユーザーが Guest として認証する** ポリシーが有効である場合、ローカル システム アカウントのユーザーに guest アカウント利用を強制されないよう、Windows 管理者にこの設定を変更するよう依頼してください。このようにしない場合は、Silk Performer エージェント インストールに失敗します。コンピュータがワークグループに参加している場合、この **Guest のみ - ローカル ユーザーが Guest として認証する** ポリシーは、デフォルトで有効になっています。


リモート インストール処理を問題なく行うため、リモート マシンで次の事項を確認してください。

- Windows ファイアウォールが無効化されていること
- ユーザー アカウント制御を無効にするか、リモート インストールで組み込みの管理者アカウントを使用すること

## リモート インストール


Silk Performer コマンド ライン ツールを使用すると、リモート エージェント コンピュータ上のエージェントソフトウェアをインストールおよびアンインストールできます。リモート エージェント コンピュータは、インターネット上の任意の場所に配置することができます。

コマンド ライン ツールに利用できるすべてのパラメータを表示するには、コマンド ラインを開き、インストール フォルダに移動して perfRsManager.exe を実行します。

 **注:** コマンドライン ツールは Silk Performer のインストール サブディレクトリから起動する必要があります。

### perfRsManager のパラメータ

以下のパラメータを利用できます。

 **注:** -mode および -host は必須です。その他のパラメータはすべてオプションです。

-mode	<ul style="list-style-type: none"><li>• -i: エージェントソフトウェアをリモート エージェント コンピュータにインストールします。</li><li>• -u: エージェントソフトウェアをリモート エージェント コンピュータで更新します。</li><li>• -r: エージェントソフトウェアをリモート エージェント コンピュータからアンインストールします。</li></ul>
-host <hostname>	リモート エージェント コンピュータのホスト名または IP アドレス。
-log	インストール ログ ファイルを、カレントディレクトリに書き込みます。ログ ファイルは、perfRsLog_<hostname>.log という名前になります。例: エージェントソフトウェアを lab15 というホス

	トにインストールすると、ログ ファイルの名前は perfRsLog_lab15.log になります。
-user <user>	Windows ドメイン ユーザーの名前。リモート アクセスでは、リモート エージェント コンピュータで管理者権限を持つユーザーを指定する必要があります。現在のユーザー名でリモート エージェント コンピュータにアクセスする場合は、このパラメータを省略します。
-domain <domain>	指定されたユーザーが属する Windows ドメインの名前。ユーザーが、インストールを起動したコンピュータと同じドメインに属する場合は、このパラメータを省略します。
-pwdUser <password>	指定したユーザーのパスワード。パスワードが不要な場合は、このパラメータを省略できます。
-port <port>	リモート エージェント コンピュータが応答するポートの番号。デフォルトにポート番号は、19200 です。
-ssl	リモート エージェント コンピュータとの通信に SSL を使用します。SSL を使用する場合は、リモート エージェント コンピュータとは、セキュアな接続のためのデフォルトポート (ポート 19201) で通信します。エージェント コンピュータがそれとは別のポートに応答する場合は、そのポート番号を -port パラメータで指定する必要があります。
-httpProxy <name> <port>	リモート コンピュータとの通信に介在する HTTP プロキシの名前とポート番号。
-socksProxy <name> <port>	リモート コンピュータとの通信に介在する SOCKS プロキシの名前とポート番号。
-pwdService <password>	リモート コンピュータ上のエージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するためのパスワード。
-userAgent <user>	エージェントを実行するユーザー。
-pwdUserAgent <password>	リモート エージェント コンピュータにログインするパスワード。
-package <package file name>	リモート エージェント インストーラ パッケージ ファイルの名前。このパラメータは、リモート エージェントにホットフィックスをインストールする場合に設定する必要があります。また、ホットフィックス ファイルの EXE の名前と一致させる必要があります。ホットフィックス パッケージが perfRsManager と同じフォルダにない場合は、完全修飾パスで名前を指定してください。
-installPath <path>	リモート エージェント コンピュータのターゲット インストールパス。たとえば、-installPath "C:¥Silk¥Silk Performer" です。
-installNetworkEmulationDriver	ネットワーク エミュレーション機能をインストールするには、このパラメータを使用します。

## 使用例

```
perfRsManager -i -host deepblue
```

```
perfRsManager -i -host deepblue -log -domain intra  
-user nobody -pwdUser 1234
```

```
perfRsManager -i -host deepblue -user alex -domain test  
-pwdUser 1234
```

```
perfRsManager -i -host 192.168.20.11
```

```
perfRsManager -i -host deepblue -log -ssl -port 19251  
-socksproxy 192.168.20.111 1080  
-pwdService 1rt34xy
```

```
perfRsManager -r -host deepblue -httpproxy proxy1 8080 -log
```

## シナリオ

このセクションでは、さまざまなネットワーク環境において、リモートエージェントのセットアップを利用して、Silk Performer エージェント ソフトウェアをリモート コンピュータへインストール、再インストール、およびアンインストールする方法について説明します。

- シナリオ 1: コントローラとエージェント コンピュータが同一の Windows ドメインまたはワークグループにある。
- シナリオ 2: コントローラとエージェント コンピュータが別の Windows ドメインまたはワークグループにある。
- シナリオ 3: コントローラ コンピュータを管理するユーザーはローカルにログオンし、それゆえ、ドメインにはログオンしない。
- シナリオ 4: 別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットを利用して接続されている。
- シナリオ 5: 別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットを利用して接続されている。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは HTTP プロキシ経由で通信する必要がある。
- シナリオ 6: 別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットを利用して接続されている。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは SOCKS プロキシ経由で通信する必要がある。

## シナリオ 1: 1 つのドメインまたはワークグループ

シナリオ 1 では、コントローラとエージェント コンピュータが同一の Windows ドメインまたはワークグループにあります。

コントローラ コンピュータから、リモート エージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストール、再インストール、またはアンインストールできます。

エージェント ソフトウェアをインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -log
```

このコマンドによりリモート コンピュータから設定や再起動ができるようにエージェント コンピュータをセットアップします。

エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントはポート 19200 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。



エージェントソフトウェアをアップグレードするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <port number>  
-pwdService <password> -log
```

エージェントソフトウェアがデフォルトポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストールプロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

## シナリオ 2：2つのドメインまたはワークグループ

コントローラとエージェント コンピュータが別の Windows ドメインまたはワークグループにあるシナリオについて説明します。

シナリオ 2 では、コントローラとエージェント コンピュータが別の Windows ドメインまたはワークグループにあります。

コントローラ コンピュータから、リモート ドメインまたはワークグループ (<domain name>) にあるエージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストール、再インストール、およびアンインストールできます。エージェント ソフトウェアをインストールするには、エージェント コンピュータがあるドメインまたはワークグループにおいて管理者権限のあるユーザー (とそのパスワード) を指定する必要があります (<user name>、<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -user <user name>  
-domain <domain name> -pwdUser <password> -log
```

このコマンドによりリモート コンピュータから設定や再起動ができるようにエージェント コンピュータをセットアップします。

エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントはポート 19200 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアを再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <port number>  
-pwdService <password> -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルトポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

コンピュータからエージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <port number>  
-pwdService <password> -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルトポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストールプロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

## シナリオ 3：ユーザーがローカルにログオンする

シナリオ 3 では、ユーザーは、コントローラ コンピュータにローカルでログオンし、ドメインにはログオンしません。

コントローラ コンピュータから、リモート ドメインまたはワークグループ (<domain name>) にあるエージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストール、再インストール、およびアンインストールできます。エージェント ソフトウェアをインストールす

るには、エージェント コンピュータがあるドメインまたはワークグループにおいて管理者権限のあるユーザー (user name) と、そのパスワード (password) を指定する必要があります。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -user <user name>  
-domain <domain name> -log
```

このコマンドによりリモート コンピュータから設定や再起動ができるようにエージェント コンピュータをセットアップします。

エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントはポート 19200 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <port number>  
-pwdService <password> -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

## シナリオ 4 : インターネットを利用して接続された 2 つの LAN

シナリオ 4 では、別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットに接続されています。

コントローラ コンピュータから、リモート エージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストールまたはアンインストールできます。

エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントは、非セキュア通信にポート 19200、セキュア通信にポート 19201 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <port number>  
-pwdService <password> -ssl -log
```

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <port number>  
-pwdService <password> -ssl -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。さらに、セキュア通信チャネルでの通信を必要としない場合には、-ssl パラメータを省略します。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

## シナリオ 5 : HTTP プロキシを利用して接続された 2 つの LAN

シナリオ 5 では、別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットに接続されています。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは HTTP プロキシ経由で通信する必要があります。

コントローラ コンピュータから、リモートエージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストールまたはアンインストールできます。通信は、HTTP プロキシ経由で行われます (<proxy name>、<proxy port>)。エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<agent port>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントは、非セキュア通信にポート 19200、セキュア通信にポート 19201 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -httpProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -httpProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。さらに、セキュア通信チャネルでの通信を必要としない場合には、-ssl パラメータを省略します。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

## シナリオ 6 : SOCKS プロキシを利用して接続された 2 つの LAN

シナリオ 6 では、別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットに接続されています。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは SOCKS プロキシ経由で通信する必要があります。

コントローラ コンピュータから、リモートエージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストールまたはアンインストールできます。通信は、SOCKS プロキシ経由で行われます (<proxy name>、<proxy port>)。エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<agent port>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントは、非セキュア通信にポート 19200、セキュア通信にポート 19201 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -u -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -socksProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェントソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -socksProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェントソフトウェアがデフォルトポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。さらに、セキュア通信チャネルでの通信を必要としない場合には、-ssl パラメータを省略します。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストールプロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

## トラブルシューティング

このセクションでは、リモートエージェントのセットアップ中に表示される可能性があるエラー メッセージと、その解決 (回避) 方法のリストを示します。

エラー メッセージ	解説
SYSTEM:53 - ネットワーク パスが見つかりませんでした	無効なホスト名が指定されたか、ホストが到達可能ではありません。-host パラメータと、そのマシンが実行中であることを確認してください。
SYSTEM:1326 - ユーザー名またはパスワードが正しくありません	-user および -pwduser パラメーターを確認してください。リモート マシンの組み込みの管理者の資格情報を使用している場合は、アカウントが有効であることを確認してください。
情報 : リモート マシンに接続しました。	指定した資格情報でリモート マシンに到達しましたが、指定したユーザーのアクセス許可がインストーラ プロセスの起動を認めませんでした。リモートマシンでユーザー アカウント制御 (UAC) をオフにするか、組み込みの管理者アカウントを使用してください。
警告 : Remote Registry サービスを解しできませんでした。	
エラー : 一時サービスのインストールと起動を行いませんでした。	
リモート セットアップに失敗しました。	
SYSTEM:5 - アクセスが拒否されました。	
システム:1219 - 入力した認証情報が、既存の認証情報セットと競合しています。対象コンピュータへのネットワーク接続が既に存在しています。	対象コンピュータへのネットワーク接続が既に存在しています。この接続は異なるユーザーとパスワードの組み合わせで確立されました。 次の DOS コマンドを実行して接続を切断します。 net use ¥¥<machine name> /delete 接続が実際に切断されたかどうかを確認するには、次の DOS コマンドを実行します： net use
PerfORB : 23 - 接続を確立することができませんでした。	リモート マシンとの接続に失敗しました。Windows ファイアウォールが無効であること、およびユーザー アカウント制御 (UAC) がオフになっていることを確認してください。
エラー : リモート マシンでリモート エージェント セットアップをインストールできませんでした。	マシンとの接続がインストール中に失われました。リモート インストーラを再度実行してください。
リモート セットアップに失敗しました。	
PerfORB : 20 - ORB が接続されていません。	

# 索引

## E

Eclipse プラグイン  
インストールする 20

## H

HTTP プロキシ  
インストールのシナリオ 27

## S

ShopIt サンプル Web アプリケーション 19  
Silk Meter  
アンインストール 10  
インストール 10  
接続のテスト 11  
ライセンス サーバーのインストール 10  
SOA Edition  
インストール 15  
SOCKS プロキシ  
インストールのシナリオ 27

## W

Windows インストーラ サービス 20

## あ

アンインストール  
Silk Meter 10

## い

インストール  
Silk Performer 12  
ShopIt サンプル Web アプリケーション 19  
SOA Edition 15  
アンインストール 20  
エージェント ソフトウェアのトラブルシューティング  
28  
概要 4, 12  
サイレントモード 16  
インストールした機能の削除 20

## え

エージェント ソフトウェア  
1 つのドメインまたはワークグループ経由のインストール 24  
2 つのドメインまたはワークグループ経由のインストール 25  
HTTP プロキシ経由のインストール 27  
SOCKS プロキシ経由のインストール 27  
インストール環境のシナリオ 24  
インターネット経由のインストール 26

リモート エージェント コンピュータへのインストール 22

リモート コンピュータへのインストール 22  
ローカル インストール 25

エージェントのみのインストール  
Silk Performer 14

## か

概要  
Silk Performer のインストール 12  
はじめに 4  
仮想ユーザー  
最大数 5

## さ

サイレントモード  
アンインストール 21  
インストール 16

## と

トラブルシューティング 28

## ね

ネットワーク エミュレーション  
ドライバの手動アンインストール 18  
ドライバの手動インストール 18

## は

パフォーマンス  
スケーラビリティ 5

## ふ

フル インストール  
インストール 4, 12, 15, 16, 19, 20, 28

## ほ

ホスト ID 9

## ら

ライセンス  
概要 8  
接続のテスト 11  
ポリシーの生成 9  
ライセンス サーバー  
要件 10  
ライセンス ポリシーの生成 9